

水産物の市況について(令和7年1月及び令和7年2月)

—東京都中央卸売市場における令和7年1月(令和6年12月21日～令和7年1月20日集計)の市況と、
令和7年2月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和7年1月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から減少で推移し、前年同月比ではやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比では横ばいで推移しました。

II 令和7年2月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

三陸～常磐沖を中心にまとまった漁獲が続くものの、鮮魚サイズの水揚げは少ないとみられ、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

山陰沖、東シナ海主体の漁獲が続くとみられ、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

全国的に低調な水揚げが続くと予想され、生鮮物の東京への入荷量は少なく・横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。
冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

当面まあじの水揚げは低調な状態が続くと予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	1月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
7年	25	1,813	29	1,691	29	1,513
前年	27	1,782	28	1,609	28	1,507

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	1月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	372	93	87	94
さけ類(平均)	1,222	87	107	123
(ぎんざけ塩蔵品)	1,188	89	100	114
(あきさけ塩蔵品)	1,531	115	162	207
(べにざけ塩蔵品)	1,499	80	110	112
(さけ類冷凍品)	1,249	88	111	129
さば(生鮮品)	583	89	97	119
するめいか(平均)	1,553	91	105	154
(生鮮品)	1,360	83	97	137
(冷凍品)	1,818	100	106	168
あじ(生鮮品)	1,147	189	144	180
まぐろ(冷凍品)	1,896	107	110	115
(めばち冷凍品)	1,169	102	97	99
(きはだ冷凍品)	920	94	71	82
(くろまぐろ冷凍品)	3,218	92	95	94
(みなみまぐろ冷凍品)	2,132	98	107	108

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:1月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは令和2年~令和6年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613